

2026年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【国語】【論理国語】	3年	2 単位	教科書	精選 論理国語	副教材等		履修対象・ 使用教室 等	3年4組／HR
教科・ 科目 の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。 （１） 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （２） 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする （３） 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「５段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 【100点換算】	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	単元テスト		14回			100		100	0
	課題提出		適宜			0		0	50
	授業態度		毎時間			0		0	50
〔観点別配分％〕		（３観点の比重を％で示しています）							
月進行 【計画】	【単元名】 学習項目名		配当 時間 【計画】	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け【◎○】 知・技 思・判・表 態度
4 5	「いき」の美学 超えて行く翻訳		10	・筆者が述べる「二重構造」「いき」の内容を理解しううえで、現代の日本人の美意識について自分の考えを論じる。 ・筆者が理想とする「翻訳」の内容を読み取る。 ・松尾芭蕉の俳句とそれの英訳とを比較し、それぞれの作品の世界観について考察する。			単元テスト ノート・レポート提出 授業態度		◎ ○ ◎
6 7	「文化が違う」とは何を意味するのか？ 学問の政治性		12	・「新しい普遍性」という表現に込められた筆者の意図を読み取り、自分の生活と関連づけて考察する。 ・「無意識のバイアス」の内容を理解し、筆者が述べる問題点を踏まえたうえで、具体例をあげて論述する。 ・「政治」に関する二つの文章を関連づけて読み、自分の意見を述べる。			単元テスト ノート・レポート提出 授業態度		◎ ○ ◎
8 9	生命の知性 意志と選択		10	・筆者の主張を踏まえて、「生命らしい知性」とは何か考察する。 ・状況に依存した思考とは具体的にどのようなことが説明する。 ・「意志」と「選択」についての筆者の問題提起と主張をとらえる。 ・意志と選択を混同している例を具体的に考える。			単元テスト ノート・レポート提出 授業態度		◎ ○ ◎
10 11	環境と心の問題 エコロジーのミューズを求めて		14	・機械論的自然観、原子論的な還元主義、物心二元論といった哲学的概念の内容を読み取る。 ・「物心二元論」について起源や考え方を詳しく調べ、現代社会における功罪について話し合う。 ・筆者の主張の根拠を、文章の構成や展開を踏まえて読み取り、「エコロジー」について自分の考えを深める。 ・筆者が「真の生態学的認知」と表現する内容を具体的に考え話し合う。			単元テスト ノート・レポート提出 授業態度		◎ ○ ◎
12 1	顔の所有 無常ということ		10	・論の展開をふまえ、逆説的な表現の内容を説明したり、筆者の主張の根拠をまとめたりする。 ・引用という表現技法の働きを引用以外の文章との関連性からとらえる。 ・「美」や「無常」について筆者はどのようなことを言おうとしているのかを具体例を手がかりにとらえ、考察する。 ・筆者の考える「歴史」について、自分の考える「歴史」と比較しながら話し合う。			単元テスト ノート・レポート提出 授業態度		◎ ○ ◎
学習の アドバイス	反復して問題演習を行い、学んだ知識を使うことにより忘れないようにしましょう。								